

取扱説明書

ADSパネル搭載 23.8型ワイド液晶ディスプレイ

この度は弊社製液晶ディスプレイをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

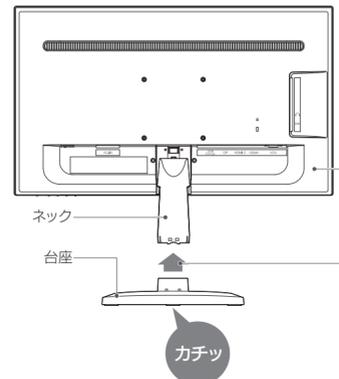


表面	裏面
<ul style="list-style-type: none"> 添付品を確認する 台座を取り付ける つなぐ 使う 安全のために 規格 使用上の注意 液晶ディスプレイの回収・リサイクル 	<ul style="list-style-type: none"> 困ったときには アフターサービス ハードウェア保証書・保証規定

添付品を確認する

- 台座
- DisplayPort ケーブル
- オーディオケーブル
- 取扱説明書 (本書)
- アナログ RGB ケーブル
- 電源コード

台座を取り付ける



取り付け時のご注意
液晶パネルが故障または破損する原因になります。
●本製品を床などに落とさない ●パネルを傷つけない
●ディスプレイ部 (表示面)を手で強く押さえない

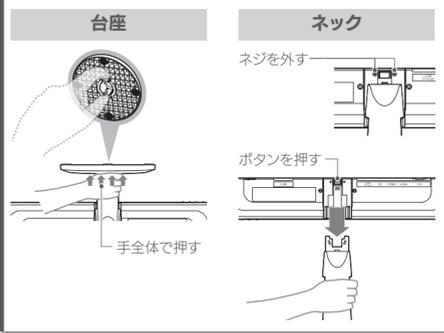
平らなところに柔らかい布などを敷き、表示面を下にして置く

「台座の穴」と「ネック」の形状を合わせて押し込む ⇒「カチッ」と音がして、台座が固定されます。

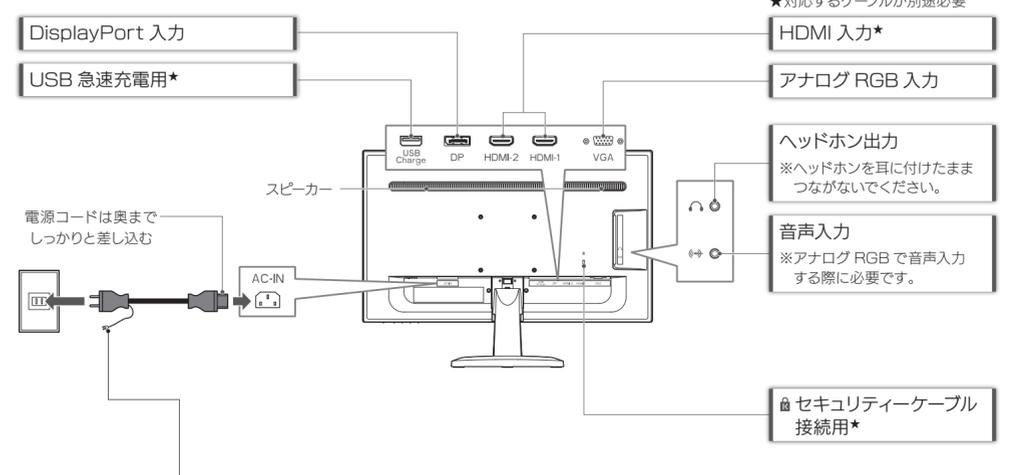
VESAアームに取り付ける方法

- 固定用ネジ:M4×10mm
- 本製品質量:約3.7kg(ネック+台座除く)
- ピッチ:100mm
- 締付トルク:80~100N・cm(8~10kgf・cm)

台座とネックを取り外す方法



つなぐ



ご注意:アースについては以下を守る
●必ずアースをつないでから、電源プラグをコンセントにつなぐ
●電源プラグを抜いてから、アースを外す
守らないと、発火・感電の原因になります。

パソコンとHDMI/DisplayPortでつないだ場合
パソコンによっては、音声の出力先を設定する必要があります。
Windows の例
① 通知領域のスピーカーアイコンを右クリック
② [再生デバイス] をクリック
③ 本製品を選び、[規定値に設定] をクリック
Mac OS の例
① システム環境設定の [サウンド] をクリック
② [出力] タブをクリック
③ 本製品を選ぶ

安全のために

- ⚠ **危険** この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険が生じます。
- ⚠ **警告** この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
- ⚠ **注意** この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

危険

- ⚠ **危険** 本製品を修理・分解・改造しない
発火や感電、破綻、けが、動作不良の原因になります。
- ⚠ **警告** 雷が降り出したら、本製品や電源コードには触れない
感電の原因になります。
- ⚠ **注意** 本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない
水や洗剤などが本製品にかかる、隙間から液み込み、発火・感電の原因になります。
●お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺で使う際は、特に注意する
●水の入ったもの(コップ、花瓶など)を上に置かない
●万一、本製品がぬれた場合は、絶対に使わない
- ⚠ **注意** 添付の電源コードは、他の機器につないで使わない
発火や感電の原因になります。添付の電源コードは、本製品専用です。
- ⚠ **注意** ゆるいコンセントにつないで電源プラグは、根元までしっかり差し込んでください。根元まで差し込んでおける場合があります。熱発して発火の原因になります。
- ⚠ **注意** 電源コードは、電源コードを引っぱったり、折り曲げ、押しつけ、加工しないでください。電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。電源コードの芯線 (電気の流れるところ) が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。
- ⚠ **注意** テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する。たこ足配線はしない
テーブルタップの定格容量 (1500W などの記載) を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、発火の原因になります。
- ⚠ **注意** 故障や異常のまま、つながない
本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。
- ⚠ **注意** コンセントまわりは定期的清掃する
長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つまったホコリが選電などの影響を受けて、発火の原因になります。(トラッキング現象) トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜き、乾いた布で電源プラグをふいてください。
- ⚠ **注意** AC100V (50/60Hz) 以外のコンセントにつないでいない
発火、発火の原因になります。
- ⚠ **注意** 充電するモバイル機器の消費電流の合計が、本製品の電流容量 (3.0A) を超えないことを確認して使う
容量を超えて使うと、発火・発熱の原因になります。
- ⚠ **注意** 液晶パネルから漏れた液体 (液晶) は触れない
誤って液晶パネルの表示面を破壊し、中の液体 (液晶) が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけないようにしてください。万が一、液体が目や口に入った場合は、すぐに水で5分以上洗い、医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣服に液体が付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で洗い流してください。そのまま放置すると、皮膚や衣服を傷めます。
- ⚠ **注意** 煙が出たり、変な臭いや音が出たら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く
電源コードが破断したり、発火の原因になります。
- ⚠ **注意** 電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない
電源コードから発熱したり、発火の原因になります。
- ⚠ **注意** 熱器具のそばに配線しない
電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。
- ⚠ **注意** 添付の電源コードは、他の機器につないで使わない
発火や感電の原因になります。添付の電源コードは、本製品専用です。

使う

ボタンのタッチ方法
ボタン印刷面の下にある突起を指の腹でタッチし、離します。

電源を入れる/切る

電源ボタンをタッチします。

電源ランプについて

青点灯	電源入
青点滅	USB過電流*1
オレンジ点灯	節電状態
消灯	電源切
	節電状態*2

*1 モバイル機器の充電中に保護機能が動作しました。モバイル機器を取り外し、本製品の電源を一度切/入してください。
該当のモバイル機器の本製品での充電はおすすめしません。
*2 設定メニューの「自動電源オフ」が「自動復帰」の場合。

ボリューム・輝度を調節する

左向きボタンをタッチすると、調節項目が表示されます。
右向きボタンをタッチすると、値を調節する項目が表示されます。
MENU ボタンをタッチすると、メニューを開く。

*設定メニュー、情報ウィンドウ非表示時のみ

映像入力を切り換える

INPUT ボタンをタッチします。
入力を選択する項目が表示されます。

ブルーリダクション・超解像を調節する

Blue Light Filter ボタンをタッチすると、調節項目が表示されます。
Blue Light Filter 値を調節する項目が表示されます。
Super Resolution ボタンをタッチすると、調節項目が表示されます。
Super Resolution 値を調節する項目が表示されます。
MENU ボタンをタッチすると、メニューを開く。

*設定メニュー、情報ウィンドウ非表示時のみ

ブルーリダクション

パソコンで作業をする際に目が疲れる原因とされるブルーライトを低減させる機能です。効果を強くするほど、画面は黄色く見えます。

超解像

映像の解像感を高め、映像の輪郭をくっきりと表示する機能です。解像度の低い動画を見るときなどに、映像のボケを低減します。
*デモモード:画面左に通常、右に超解像処理の映像を表示する機能

設定メニューを開く

MENU ボタンをタッチします。
メニュー操作を無効化する
メニュー項目を移動する項目が表示されます。
MENU ボタンをタッチすると、メニューを閉じる。

設定メニューなどの情報は『画面で見るマニュアル』をご覧ください

<http://www.iodata.jp/p/151620>



使用上の注意

■画面の焼き付きを防ぐために

同じ画面を長時間表示させていると画面の焼き付きが起こることがあります。
●パソコンやディスプレイを使用しないときは電源を切ってください。
●なるべく、省電力機能またはスクリーンセーバー機能をご使用ください。

■お手入れのために

- 表示面が汚れた場合は、脱脂綿が柔らかいきれいな布で軽く拭き取ってください。
- 表示面以外の汚れは、柔らかい布に中性洗剤を含ませて軽く絞ってから、軽く拭いてください。ベンジンやシンナーなどの溶剤は避けてください。
- ディスプレイ部の表面は傷つきやすいので、工具や鉛筆、ボールペンなどの固いもので押しついたり、叩いたり、こすったりしないでください。
- 表示面に水滴などをつけたまま放置しないでください。水滴などが付いた場合はすぐに脱脂綿や柔らかい布などで拭き取ってください。放置しておくと表示面が変色したり、シミの原因になります。また、水分が内部へ入ると故障の原因になります。

■バックライトについて

本製品に使用しているバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、チラチラしたり、点灯しないときは、新しい液晶パネルへの交換が必要です。
※ご自分で交換は絶対に行わないでください。交換等につきましては、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

■留意事項について

- 地震、雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品に付属の取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の保証条件は、裏面の「ハードウェア保証規定」をご覧ください。
- 本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

規格

■VCCI 規格について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。



■J-Moss について

この装置は、「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法 (JIS Q 0950)」に基づきグリーンマークを表示しております。化学物質の含有情報は以下をご覧ください。
<http://www.iodata.jp/jmoss/>

液晶ディスプレイの回収・リサイクル

弊社では製品のリサイクルの容易さや電力消費の抑制など環境負荷を軽減する製品開発を進めています。液晶ディスプレイ製品の回収・リサイクルにご協力をお願いいたします。

法人のお客様は

弊社では、法人のお客様がご不要になった弊社製液晶ディスプレイの回収・リサイクルのご案内や料金のお見積もりをおこなっております。詳細は、下記弊社 Web ページをご覧ください。

■お申し込み窓口

http://www.iodata.jp/recycle_h/

ご家庭でお使いのお客様は

弊社では「資源有効利用促進法」にもとづき、ご家庭で排出される弊社製液晶ディスプレイのリサイクルを実施しています。回収された液晶ディスプレイは、新たな資源として生まれ変わります。この取り組みを通じて、弊社はユーザーの皆様とともに地球環境保全の活動を進めてまいります。弊社が無料で回収・再資源化いたします。お申し込みについては、下記弊社 Web ページをご覧ください。

■お申し込み窓口

http://www.iodata.jp/recycle_k/

